

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（主催・共催型プロジェクト）（二次提案受付）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択金額（千円）
1	文化庁企画調整課 (国立アイヌ民族博物館設立準備室)	アイヌ文化魅力発信プロジェクト ～ アイヌが歩む。アイヌと歩む。～ (仮称)	民族共生象徴空間（ウポポイ）、全国各地	令和元年9月頃～令和2年10月頃	イランカラプテ！ 2019年度は、多くの訪日外国人が集まる主要空港等において、アイヌ文化の魅力が多言語によって戦略的に発信するリレー展示を開催します。 2020年度は、民族共生象徴空間（ウポポイ）や北海道各地の主要施設において、アイヌ文化を国内外に発信する大規模な事業を計画中です。	36,380
2	一般社団法人国際児童青少年舞台芸術協会 (アンテジ) 日本センター	2019国際子どもと舞台芸術未来フェスティバル in 全国	東京都他、全国で巡回を調整中	令和元年7月～令和2年1月	「子ども、文化。それが私たちの未来」をテーマに、子どもたちが、良質で多様な舞台芸術と出会い、鑑賞や創造に参加するための開かれた機会を継続的に創出するためのキックオフ年です。全国でシンポジウム及び、各地域の文化施設やコーディネーター、文化団体等によるディスカッションを展開します。また、狂言、和太鼓、盆踊り等の鑑賞・体験プログラムを同時に行い、「2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル」の東京・全国開催に繋がります。	5,571
3	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	日本遺産を活かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト	山形県、神奈川県、岐阜県、富山県、岡山県、大分県	令和元年9月～11月	「生き生きとした伝統文化体感ライブ」をコンセプトにした、日本文化発見プロジェクト。全国の日本遺産における伝統建築や史跡等を舞台に、地域の歴史的背景から伝承されてきた“自然と祈り”または“自然と技”を切り口に、バイリンガル対応のトークや芸能などを通して地域の日本遺産を構成する文化芸術を取り上げる、これまでにない「タイムトリップ型」の伝統文化ライブを開催。驚きと発見と楽しさに満ちたディープな日本がここに！開催地によって地域住民との交流や、自然・食・工芸等をテーマにした体験企画も実施。訪日外国人も楽しめるようノンバーバルの要素（画像・映像・実演）を多く取り入れるとともに、英語による補助ツール（パンフレット、逐次通訳等）を用意。	48,637
4	株式会社朝日新聞社 (独立行政法人国立科学博物館との共同事業)	特別展「和食」（仮称）及び関連プロジェクト	東京都	令和2年3月14日～6月14日	2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、世界中で「和食」が大きな注目を集めています。本事業は、縄文時代から現代、そして未来まで、アイヌや琉球を含む日本の豊かな自然と文化から生まれた「和食」を、標本等の「リアル展示」とインタラクティブメディアアートによる「映像展示」を融合させた体感的な展示で、多角的に紹介する初の大型展です。和食に関するアンケート結果やビッグデータを分析し、現代人の和食に対する考えも読み解いていきます。	48,672
5	公益財団法人新国立劇場運営財団	子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ「Super Angels スーパーエンジェル」	東京都	令和2年8月22日・23日	世界の注目が東京に集まる2020年8月に新国立劇場が上演する、子どもたちとアンドロイドが友情のドラマを紡ぐ新しいオペラ。子どもたちの合唱を主役にAI、人間、自然が共生する日本の未来を描くオペラを新制作・初演することで、これからの科学技術と自然との関係を幅広い世代に問う。人工生命搭載アンドロイド「オルタ3」も物語の核となる役で出演。	2,522
6	(実行委員会)	日本の自然と書の心（仮称）	東京都	令和2年4月25日～5月10日	本展覧会は東京2020大会の開催を記念し、日本を代表する現代書家200人が様々な表現様式によって制作した新作と、力強い障がい者の書や、次世代を担う児童・青少年の書作品を一堂に展示し、併せて代表作家による制作映像の放映や、文房四宝（筆墨硯紙）の展示など、日本の書道文化を総合的に紹介する。訪日外国人向けに多言語対応し、席上揮毫やワークショップを交えて、日本の伝統文化であり生活文化でもある書道を国内外に発信する。	9,240

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（主催・共催型プロジェクト）（二次提案受付）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択金額（千円）
7	独立行政法人国立科学博物館 (環境省との共同事業)	企画展「国立公園展」(仮称)	東京都	令和2年8月～10月	四季折々に変化する日本の美しい自然と共に生きてきた、日本人の文化景観である全国の国立公園を紹介します。 国立科学博物館が所蔵する標本資料や絵画、映像等により、科学的かつ文化芸術的な側面から国立公園を紹介します。訪日外国人にも分かりやすく多言語(日英中韓)で展示し、環境省が推進する「国立公園満喫プロジェクト」との連携も図りながら、実際に国立公園への誘客を促す展示を企画します。	35,658
8	独立行政法人国立美術館 国立新美術館	「時空を超える日本のアートー古典×現代2020」(仮称)	東京都	令和2年3月11日～6月1日	美術、デザイン、建築の分野の第一線で活躍している現代作家の作品と、日本の古典美術の名品を組み合わせる展示の展示会です。円空、若冲、蕭白、北斎、乾山といった江戸時代の巨匠たちの作品や、仏像、刀剣の名品とともに、川内倫子、鴻池朋子、しりあがり寿、菅木志雄、棚田康司、田根剛、皆川明、横尾忠則という、現代日本を代表する作家たちの創作をご紹介します。これにより、古今の創造的営みに潜む、造形的、精神的な類似や親和性を明らかにします。	44,721
9	独立行政法人国立美術館 国立新美術館	「日本のファッション展」(仮称)	東京都	令和2年6月3日～8月24日	1970年代以降、「自然」とのかかわりにおいて、日本人が生み出してきた、独特な装い文化の歴史は世界から高い評価を得ています。本展は、現在の日本のファッションの土台となった明治期以降の動向をふまえ、ユニークな展開をみせた戦後から現在に至る日本のファッションを中心に、「創造性」と「革新性」を切り口に多言語で紹介します。併せてファッションショーやトークイベントなども実施します。	12,172
10	独立行政法人国立美術館 国立新美術館	「MANGA都市TOKYO ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮2020」	東京都	令和2年7月～9月(調整中)	日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品は、都市(東京)の特徴や変化を、鏡のように映しだしてきました。本展は、そのさまざまな描写を、多数の原画や模型、映像などでたどりま。現実の都市の特徴がいかにフィクションに影響を与えてきたのか。またそれらフィクションやそのキャラクターが、現実の都市にいかなるイメージを重層的に付与し、作用をおよぼしてきたのか。本展は、日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮の展示であると同時に、そこに映し出され、さらには人々の記憶の中で重ね合わされた、(東京)を展示します。「聖地巡礼」など、アニメやゲームが観光資源として注目される中、その意味や可能性に光を当てます。	32,654
11	独立行政法人国立美術館 京都国立近代美術館	「円山応挙から近代京都画壇へ VRと日本画技法体験プロジェクト」	東京都、京都府	令和元年8月～12月	応挙寺と言われる大乗寺の襖絵を360度見渡させるようにVRという新しい技術によって製作し、襖絵など自然が描かれた絵画の世界をより立体的に空間として体験できる機会を提供します。また東京藝術大学の日本画家との連携により日本画の材料・技法を用いたワークショップを国内外の人々に体験してもらうことで日本における独自の絵画技法に触れてもらいます。それらの体験は、展示会自体や展示作品の理解のみならず、日本文化そのものへのより深い理解に繋がると期待されます。	12,880
12	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館	「隈研吾展」	東京都	令和2年7月～10月	本展は、建築家・隈研吾の作品紹介を通じて、「アジアに住む日本人が自然や環境を通して育んできた気づき」に対する観客の理解を深めることを目的とするものである。その際、高解像度映像のインスタレーション、タイムラプス動画、VR、プロジェクション・マッピングなど、最先端の技術や映像を最大限に活用する。また、国内にある隈が設計した建物を紹介する特設サイトを多言語で構築し、インバウンドのニーズに応える。	57,359

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（主催・共催型プロジェクト）（二次提案受付）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択金額（千円）
13	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」	東京都	令和2年3月14日～5月10日	日本初の世界遺産・法隆寺の金堂を主なテーマとし、世界を代表する古代仏教絵画である金堂壁画の焼損前に描かれた優れた模写や金堂ゆかりの貴重な諸仏の展示により、金堂と壁画の素晴らしさ、文化財の保護・継承の意義を伝える。同時に、2015年に発足した法隆寺金堂壁画保存活用委員会の活動等から得られた知見を紹介し、文化財の保存と活用の最前線をご覧いただく。	44,628
14	独立行政法人日本芸術文化振興会	特別展「工芸2020—日本の工芸と自然—」及び「工芸と食」プログラム	東京都（「工芸と食」プログラムは令和元年度に東京、京都の2か所、令和2年度に他の地方地域数か所で実施）	令和2年10月～11月（「工芸と食」プログラムは令和元年11月から実施）	世界から高い評価を得ている伝統工芸から工芸美術の作家まで招聘し、幅広い作品を自然と工芸の関係性をテーマに展示することで工芸の価値を改めて提示します。重要無形文化財保持者（人間国宝）から中堅、次の世代を担う若手の作家まで、伝統的な素材を作品に用いた現役の工芸作家が一堂に集います。デザイン性の高い空間で展示することで、国内外へ工芸のもつ新たな魅力と可能性を発信する意欲的な取組です。 関連企画の「工芸と食」は、工芸の持つ機能美に焦点を当てながら、工芸と食文化を融和させる体験型プログラムとして行います。	16,712
15	独立行政法人日本芸術文化振興会	「日本博」2020オープニング・セレモニー 記念公演『月雪花にあそぶ—日本の音と声と舞—』	東京都	令和2年3月14日	「日本博」2020の始まりを宣言する式典の後、歌舞伎・能・文楽・雅楽・琉球芸能・現代の合唱等、多くの舞台芸術が一堂に会し、様々な形で共演し「日本の四季」を感じられるパフォーマンスを披露します。 多くの日本人及び外国人が集まる東京国立博物館本館前に三面の特設舞台を設営し、映像技術、現代アートを取り入れるなど、分野を超えた過去最大規模の催事を作り上げます。日本語・英語による解説付きで、どなたにも日本の舞台芸術が総合的に体感できる機会とします。	134,331
16	独立行政法人日本芸術文化振興会	ユネスコ無形文化遺産 「体感！日本の伝統芸能 —歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界—」（仮称）	東京都	令和2年3月10日～5月24日	本展覧会では、長い自然との共存の歴史の中で豊かな表現を育んできた歌舞伎、能、文楽、雅楽、組踊などの日本を代表する伝統芸能と、全国各地の民俗芸能の魅力をご紹介します。来館者が自由に上がれる再現舞台を設置するほか、実際の公演で使用されている小道具・楽器・衣裳等も、自由に触れられる形で展覧します。エントランスホールでは、満開の桜の下で舞い踊る姿が描かれた17世紀の国宝「花下遊楽図屏風」の高精細複製を展示し、プロジェクションマッピングによって幻想的な空間を創り上げます。体験型ワークショップやデモンストレーションも定期的にも実施する予定です。	119,210
17	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場	舞踊公演「京舞」～舞から感じる京都の四季～	東京都	令和元年11月29日、30日	雅やかで格調高い美に満ちた『京舞』の21年ぶりの東京公演です。祇園の花街を中心に育まれ、洗練された輝きを有する井上流による京舞の世界。18世紀末頃、初世井上八千代に始まる井上流は座敷舞ならではの高雅で匂い立つような風情と、能や人形浄瑠璃の影響を受けたダイナミックな表現力を併せ持ちます。五世家元・井上八千代を中心に総勢約60人の祇園甲部の芸妓、舞妓が出演し、その真髓を余すところなくお伝えします。	13,013
18	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場	「雅楽・声明」公演 ～日本の音と声～	東京都	令和元年7月20日、11月9日	千年以上の歴史を有し、世界最古のオーケストラとして国内外でも高く評価されている「雅楽」。仏教行事で唱えられる声の表現で、日本の伝統的な声楽である「声明」。長い歴史を有するこれらの芸能は、日本人の価値観を今に伝える貴重な文化である。国立劇場では、7月には初心者の方を対象に、代表的な演目の鑑賞に加えて、実演解説や体験コーナーなどを充実させた入門公演を行う。11月には、由来の異なる様々な雅楽の紹介と、正倉院復元楽器による復曲作品の上演を行う。	3,692

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（主催・共催型プロジェクト）（二次提案受付）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択金額（千円）
19	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場	民俗芸能公演 ～祝福と神話 自然を背景に～	東京都	令和元年7月27日、令和2年1月25日	日本各地に古くから伝わる民俗芸能は、自然と共存しながら生活してきた日本人の精神性に深く関連し、各地域の特色をよく表している。本プロジェクトでは、公演ごとにテーマを設け、各地域の特色を表す芸能を紹介する。今年には即位改元のあったことから7月の公演では複数の地域の「祝福芸」を特集する。また1月の公演では日本の神話に注目して「出雲の神楽」を上演する。東京にいながらにして地方の芸能の様々を複数楽しむことが出来る国立劇場ならではの公演。	8,324
20	組踊上演300周年記念事業実行委員会	沖縄の伝統芸能・ユネスコ無形文化遺産「組踊」～300周年の誇りを世界に～ 琉球芸能の美と心—組踊「執心鐘入」との交感 ちがうぞ 色彩、所作、旋律	福岡県、大分県、島根県、新潟県、東京都、長野県、兵庫県	令和元年10月11日、10月13日、11月4日、11月6日、11月7日、11月9日、11月10日	沖縄芸能は、アジアの海洋に開かれた島々の文化として発展した。その真髄とも言える組踊は、江戸時代に、能楽、歌舞伎などやまととの交流を通じ創作され、初上演から300年を迎える。多様な日本の文化芸術の中で、言葉、音楽、演技・舞踊など固有の表現をもった琉球文化の結晶「組踊」を、初となる全国の劇場での巡回公演、ユネスコ無形文化遺産として多言語での世界への発信を通して、わが国を代表する伝統芸能の「美と心」を再発見する事業である。	40,376
21	公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団	沖縄の伝統芸能・ユネスコ無形文化遺産「組踊」～300周年の誇りを世界に～ 琉球王朝の美～組踊と琉球舞踊、その継承と発信～	沖縄県（福岡県、大分県、島根県、新潟県、東京都、長野県、兵庫県、パリ（経費対象外）	令和元年10月4日、5日、12日、12月21日、22日 令和2年1月11日、3月21日	琉球王国時代から、様々な文化の影響を受けつつ、独自の美学と感性で育まれ発展してきた沖縄の芸能文化を、次世代に引き継ぐと共に、時代に即した新たな文化芸術を創造するため、今年県内外で組踊上演300周年記念事業が展開されるのを機に、沖縄の自然環境や彩り豊かな文化を発信する「琉球王朝の美～組踊と琉球舞踊、その継承と発信～」を開催する。	45,822
22	大道芸ワールドカップ実行委員会	大道芸ワールドカップin静岡2019	静岡県	令和元年11月1日～4日	徳川家康公の居城である「駿府城公園」という静岡の歴史文化資源をメイン会場に、訪日外国人をはじめ、誰もが楽しむことができる世界的なコンテンツである「大道芸」と日本の伝統・歴史・自然を同時に体験することができるフェスティバル。メイン会場の駿府城公園を中心に市街地にステージが点在し、街全体が演技ポイントと化す。回を重ねる毎にその質は高まり、4日間に渡り国内外から約80組の選抜されたアーティストが演技を披露する。	71,453
23	公益財団法人日本博物館協会	ICOM京都大会2019における日本文化の発信—開会式における無形文化財：能「石橋」の上演と閉会式における日本舞踊「季の葩三番叟」の上演—等	京都府	令和元年9月1日～7日	本年9月1日～7日にかけて、我が国で初めて開催されるICOM京都大会2019の開会式・閉会式において、日本人の自然観や信仰を表現した我が国の代表的な伝統芸能である「能」と「日本舞踊」を上演する。また、大会期間中である9月3日と4日に、それぞれ金剛能楽堂及び京都観世会館で日本の“四季”や“美”を意識しつつ、海外からの参加者向けに短く筋立てが明瞭で、初心者にも親しみやすい「能」「狂言」の演目を選定し、字幕付き（日英）で上演する。	17,627
24	独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館	特別展「流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美」開催記念 十二単お服上げの再現—現代につながる王朝の美	京都府	令和元年11月9日※特別展は令和元年10月12日～11月24日	特別展「流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美」の開催を記念し、絵巻に描かれた中務、小大君、そして小野小町ら女性歌人の姿を再現する、十二単のファッションショーを行います。公演の後には、十二単を纏った方を撮影することができるフォトスポットをご用意。十二単の鮮やかな色の重なり、かすかな衣擦れの音、お服上げ（着付）の巧みな技術にご注目ください。	3,757

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（主催・共催型プロジェクト）（二次提案受付）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択金額（千円）
25	独立行政法人日本芸術文化振興会	特別展「京都の国宝展—守り伝える日本のたから—」（仮称）	京都府	令和2年4月下旬～6月下旬	古代より育まれてきた日本人の自然への畏敬の念と美意識等を、絵画、彫刻、工芸、書跡、考古資料、歴史資料等の幅広い分野の京都ゆかりの国宝で通覧します。また、文化財の保存活用に必要不可欠な文化財修理、修理材料の確保や修理技術の継承、模写・模造製作を通じた技術の復元等の取組を多言語で紹介します。	93,915
26	独立行政法人日本芸術文化振興会	我が国の美術工芸品等修理の技と自然の原材料を活かした伝承と活用—国宝重要文化財（美術工芸品）保存修理成果の現地公開—	大阪府、京都府	令和2年2月下旬～4月上旬、3月20日～5月25日、6月23日～7月19日	日本には木や紙、絹など脆弱な材質よりなる美術工芸品がおびただしく伝わる。千年以上経た品を多数含むそれらは、収納方法をさまざまに工夫し、四季の変化に応じてこまめに手入れを繰り返すことにより伝えられたものである。自然と対決し力でねじ伏せるのではなく、自然に敬意を払い共存してゆこうという姿勢のもと独自の発達を遂げた、世界に誇るべき日本の修理技術の粋を、最近行われた修理事業の成果の報告という形で公開する。	10,194
27	独立行政法人国立文化財機構 奈良国立博物館	特別展「毘沙門天 —北方鎮護のカミ—」	奈良県	令和2年2月4日～3月22日	毘沙門天は四天王のうち北方を守る一尊であるが、日本では単独でも信仰された。毘沙門天信仰はとくに平安時代以降隆盛を見せ、多くの優れた作品を生み出してきた。また毘沙門天は七福神の一尊でもあるように身近な尊像であり、日本の風土と密接な関連を有する。仏教と自然との関わりを考える際、毘沙門天は重要な位置を占める。この展覧会は自然、風土との関わりを柱に、アメリカ合衆国所在の作品の里帰り展示も含め、かつ多言語（日英中韓）での解説を添えつつ、毘沙門天信仰の美術の全貌を紹介する。	9,878
28	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	2019年度平城宮跡資料館夏のこども展示「ならのみやこのしょくぶつえん—土の中の花鳥風月—」	奈良県	令和元年7月20日～9月1日	奈良のみやこ“平城京”。そこに住んでいた人々や地方からやってきた人々は、いったいどんな木々や草花を目にし、めで、何を想ったのでしょうか？空想上の平城京植物園のようすを万葉集や遺跡から出土した木簡、瓦、タネや花粉などをてがかりに考えてみましょう。この夏、奈良国立博物館で開かれている「いのりの世界のどうぶつえん」展とともに、親子そろって古代の人々の自然観に触れてみませんか？	1,676
29	奈良県	古代から令和の時代までつながる文化を巡る奈良博覧プロジェクト	奈良県ほか	令和元年7月頃～令和2年3月頃	世界遺産平城宮跡を主会場とした「大立山まつり」を中心に据えて、県内外のイベントを結び、通年で県内の文化や自然を周遊・体感できるプログラムを展開し、文化財はもちろん、伝統行事や食文化等も含めた奈良の文化の魅力を国内外に発信し、良質な誘客・周遊を強力に推進する。奈良の地で生まれ、育まれてきた和の精神を体感することができる奈良の自然や歴史、食文化、文化財といった文化資源を活用した外国人観光客数や外国人延べ宿泊客数の更なる増加促進を図る。	67,807
30	せとうちパレット日本博実行委員会	「響きあう、人・海・芸術～せとうち交響」プロジェクト 英語名：Setouchi Symphony	岡山県、広島県、山口県、愛媛県、香川県	令和元年7月～令和2年3月	世界でも屈指の多島海の美の景観、その固有の自然を背景に紡がれた人々の暮らしや文化は、時代を超えて日本人の心を揺らし続けてきた。その瀬戸内を代表する文化遺産や島々に息づく文化財・記念物・文化的景観などの文化遺産を総活用し、伝統から現代に至る「日本の美」を内外に発信する一大フェスティバルを開催する予定。	37,734

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（主催・共催型プロジェクト）（二次提案受付）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択金額（千円）
31	宗像国際環境会議実行委員会	「神宿る島」国際文化芸術プロジェクト	福岡県	令和元年7月～令和4年3月	古代日本と東アジアとの交流から生まれた文化の証である世界遺産「宗像・沖ノ島と関連遺産群」。自然の多様性を尊重する「神宿る島」への信仰はわが国文化の生成と発展に貢献してきた。本プロジェクトは、世界遺産「宗像・沖ノ島と関連遺産群」を舞台とし、「神宿る島」を崇拜する伝統の基層にある「海への畏敬と共生の想い」をテーマに文化芸術活動と環境活動を架橋した事業を展開。「日本の心と美」の魅力を世界に発信する。	17,857

1. 採択合計額

1, 1 0 4, 4 7 2 千円

2. 採択結果

提案件数 4 6 件

採択件数 3 1 件